

新庄信用金庫レポート

DISCLOSURE (令和5年9月末)

SHINJO SHINKIN BANK

ごあいさつ

信用金庫は、協同組織の地域金融機関として、経営の健全性、透明性の確保を基本に、その社会的使命の下、会員をはじめとする地域の中小企業や住民の方々から、高い信頼と信託を得てまいりました。

現下の国際情勢は、ロシアのウクライナ侵攻が依然として続く中、今年10月にはパレスチナとイスラエルの軍事衝突が起こり、更なる地政学的リスクの発生により一段と不安定な状況にあります。国内においては、依然として日米金利差による円安が続き、輸入品やエネルギー価格の上昇が収まっておりません。加えて世界的な金融引き締め、中国経済の先行き懸念などが国内景気下振れのリスクとなっており、我々を取り巻く環境は厳しさが続いております。

今年度創立100年を迎えた当金庫は、これからもお客様との「共通価値の創造」に向けて、地元になくてはならない金融機関として『地域社会の繁栄に貢献する』という経営理念の下、役職員一致協力して努力する所存であります。

今後とも、より一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

令和5年11月

理事長 井上 洋一郎

CONTENTS

1. 金融再生法ベースの債務者区分による開示（単体）
2. 自己資本の構成に関する主な開示事項/定量的な開示事項
3. 預金・貸出金の状況（残高）
4. 貸出金の内訳（業種別区分残高）
5. 時価のある有価証券の評価差額（単体）
6. 総代会の機能・総代の氏名等
7. CSR進捗状況
8. 地域貢献
9. トピックス

（記載する数値は、監査法人の監査を受けておりません）

1. 金融再生法ベースの債務者区分による開示（単体）

（単位：百万円）

債務者区分※	令和5年9月末	令和4年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,039	1,053
危険債権	1,941	1,851
要管理債権	35	38

（注） 上記の令和5年9月末の計数は「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規制」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しておりますが、集計方法については以下の点につき年度末に開示する計数と異なるため、計数は連続しておりません。

- 令和5年9月末の「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」および「危険債権」の金額は、令和5年3月末時点における債務者区分を前提とし、3月末から9月末までに倒産、不渡り等の客観的な事実ならびに債務者区分の引下げ等があった債務者について、当金庫の定める自己査定基準に基づき債務者区分の変更をしております。この場合、債務者区分が下方へ変更になった場合を対象とし、債務者に対する債権額を新たに加算、元の債務者区分欄から減額しております。
- 令和5年9月末の「要管理債権」の金額は、3月末時点における債務者区分を前提とし、3月末から9月末の間に正常先、要注意先の債務者に対する債権のうち①新たに3ヵ月以上延滞となった債権、②新たに貸出条件を緩和したことを確認している債権を加算し「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」および「危険債権」に変更になった金額を減算しております。
また、3月末時点の自己査定金額を基準として、半期中の増減額を勘案しております。

※ 債務者区分

- 破産更生債権及びこれらに準ずる債権（実質破綻先、破綻先の債権）
- 危険債権（破綻懸念先）
- 要管理債権（要注意先のうち、利払いが3ヵ月以上延滞しているか、貸出条件を緩和している債権）

2. 自己資本の構成に関する主な開示事項/定量的な開示事項

（単位：%、百万円）

項目	令和5年9月末	令和4年9月末
単体自己資本比率	12.82	12.70
コア資本に係る基礎項目の額	6,371	6,055
コア資本に係る調整項目		
無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。）の額の合計額	5	7
繰延税金資産（一時差異に係るものを除く。）の額	-	-
前払年金費用の額	190	135
少数出資金融機関等の対象普通出資等の額	-	-
コア資本に係る調整項目の額	196	143
自己資本の額	6,174	5,912
リスク・アセット等の額の合計額	48,129	46,526
信用リスクに対する所要自己資本の額	1,814	1,752
オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額	110	108
単体総所要自己資本額	1,925	1,861

3. 預金・貸出金の状況（残高）

（単位：百万円）

	令和5年9月末	令和4年9月末	令和5年3月末
預金	77,439	76,673	77,410
貸出金	41,543	41,415	42,047

4. 貸出金の内訳（業種別区分残高）

（単位：百万円）

	令和5年9月末	令和4年9月末	令和5年3月末
製造業	2,307	2,215	2,372
農業、林業	555	559	563
建設業	3,666	3,901	3,803
電気、ガス、熱供給、水道業	164	193	169
情報通信業	61	65	64
運輸業、郵便業	466	460	466
卸売業、小売業	2,600	2,564	2,718
金融業、保険業	1,411	1,225	1,464
不動産業	8,822	8,768	8,823
物品賃貸業	107	62	72
学術研究、専門・技術サービス業	25	2	20
宿泊業	495	578	568
飲食業	603	612	599
生活関連サービス業、娯楽業	537	584	546
教育、学習支援業	119	140	131
医療、福祉	1,290	1,386	1,328
その他のサービス	3,217	3,191	3,167
小計	26,452	26,516	26,883
地方公共団体	1,505	1,669	1,577
個人（住宅・消費・納税資金等）	13,586	13,229	13,587
合計	41,543	41,415	42,047

（注）業種別区分は、日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

5. 時価のある有価証券の評価差額（単体）

（単位：百万円）

	令和5年9月末				令和4年9月末			
	時価	評価差額		時価	評価差額		うち損	
		うち益	うち損		うち益	うち損		
その他有価証券	19,024	△ 747	644	1,392	18,814	△ 831	475	1,307
株式	1,229	234	305	70	1,346	△ 55	110	165
債券	7,278	△ 324	7	331	6,796	△ 208	5	213
その他	10,516	△ 657	332	990	10,671	△ 567	360	927

	令和5年9月末				令和4年9月末			
	帳簿価額	含み損益		帳簿価額	含み損益		うち損	
		うち益	うち損		うち益	うち損		
満期保有目的の債券	-	-	-	-	-	-	-	

（注）1. 令和5年9月末の「評価差額」および「含み損益」は、令和5年9月末時点の帳簿価格と時価との差額を計上しております。
 2. 満期保有目的の債券に係る含み損益がある場合は、決算上に影響しません。

6. 総代会の機能・総代の氏名等

【総代会の機能について】

総代会は、当金庫の会員の中から定款に定める方法によって選任された総代で組織される最高意思決定機関です。

【総代の氏名等について】（令和5年9月30日現在）

1. 総代の氏名等

選任区域	人数	氏名・就任年数（丸内数字）
新庄地区	32名	藤田 敏雄 ^⑮ 涌井 洋一 ^⑪ 沼澤 正則 ^⑭ 結城 敏夫 ^⑩ 山科 昭雄 ^⑭ 阿部 茂 ^⑥ 阿部 浩悦 ^⑭ 井上 孝一 ^⑥ 江口 好彦 ^⑮ 日下 修一 ^⑥ 菅 信二 ^⑭ 奥山 貴裕 ^⑥ 長倉 洋一郎 ^⑮ 井上 和郎 ^⑥ 吉田 慶一 ^⑩ 大場 清文 ^⑥ 片岡 潤二 ^⑩ 柿崎 千恵 ^⑥ 阿部 克 ^⑩ 武田 一夫 ^⑥ 井上 貞治 ^⑫ 佐々木 新一郎 ^⑥ 佐藤 啓 ^⑪ 津藤 真知子 ^⑥ 田澤 雅宏 ^⑪ 沼澤 孝典 ^⑥ 長南 雅行 ^⑪ 梁瀬 幹子 ^⑥ 早坂 幸久 ^⑪ 加藤 秀幸 ^⑥ 森 俊明 ^⑪ 涌井 正和 ^⑪
最上郡地区	16名	佐藤 景一郎 ^⑮ 青柳 富士男 ^⑪ 川田 幸一 ^⑬ 星川 新一 ^⑥ 庄司 和敏 ^⑪ 笹原 洋雄 ^⑥ 熊谷 市夫 ^⑩ 寒河江 宏一 ^⑥ 高橋 智之 ^⑥ 佐々木 重四郎 ^⑬ 山科 義行 ^⑥ 大場 利秋 ^⑭ 柴田 清正 ^⑩ 大石 紳一郎 ^⑥ 岸 伊和男 ^⑮ 佐藤 隆 ^⑥
天童・大石田地区	13名	庄司 正彦 ^⑩ 荒木 正憲 ^⑪ 吾妻 正章 ^⑥ 土屋 昭智 ^⑥ 狩野 一康 ^⑥ 設楽 勇吉 ^⑥ 大場 和敏 ^⑥ 矢吹 栄修 ^⑥ 富樫 正一 ^⑥ 村山 与四郎 ^⑭ 芳賀 義隆 ^⑥ 八鍬 隆正 ^⑥ 山口 孝之 ^⑬
河北町地区	1名	工藤 信策 ^⑥
庄内町地区	1名	鈴木 富士雄 ^⑥

2. 総代の属性別構成比

職業別	比率（％）
法人代表者	52.38
個人事業主	30.15
個人	17.46
合計	100.00

年代別	比率（％）
40～49歳	1.58
50～59歳	11.11
60～69歳	34.92
70歳以上	52.38
合計	100.00

業種別	比率（％）
製造業	6.34
農業、林業	3.17
建設業	19.04
運輸業	1.58
卸売業、小売業	31.74
不動産業	4.76
学術研究、専門・技術サービス業	1.58
宿泊業	3.17
生活関連サービス業、娯楽業	3.17
医療、福祉	7.93
その他のサービス	17.46
合計	100.00

7. CSR進捗状況

(コーポレート・ソーシャル・レスポンスビリティ)

CSRとはCorporate Social Responsibilityの略で、一般的に「企業の社会的責任」と言われます。



「新庄藩初代藩主戸沢政盛公物語」の読書感想文コンクールを市内小学校向けに開催し、入賞した児童に表彰を行いました。

◆ コーポレートガバナンス（企業統治）

・お客様の声に耳を傾けます。

当金庫では、お客様から頂いたご意見等を参考に、様々な活動を行っております。これからも、地域に密着した金融機関を目指すため、ご協力をお願いいたします。

<進捗状況>

- ・社会保険労務士との連携による「個別年金相談訪問」を実施しております。
- ・山形大学の柴田孝客員教授による企業への現場改善相談を行っております。



山形大学の柴田孝客員教授とともに企業への視察による現場改善・経営相談を毎週実施しております。

◆ ステークホルダー（当金庫を取り巻くあらゆる利害関係者の方々）

・お客様からの相談にアドバイスできるよう努力しております。

当金庫では、お客様の堅実な資産づくりのお手伝いをしております。より多くのお客様の現状や将来の生活設計に役立てるよう、ご相談機能や、新商品の開発、サービスの一層の充実に向け、職員一丸となってFP（ファイナンシャルプランナー）技能士資格を取得し、努力してまいります。

<進捗状況>

- ・日本ファイナンシャル・プランナーズ協会の2級FP技能資格と1級FP技能資格取得に向けた取組みを継続しております。
- ・大学教授、企業経営者、社会保険労務士等による経営相談を実施しております。
- ・山形大学と共に顧客の課題発掘・解決に関する取組みを行っております。

◆ エコロジー・社会貢献

・NPO法人バイオマスもがみの会と共に、バイオマス（生物資源）の利用研究に関する普及啓発活動や、企業の森づくり活動、新庄「小さな親切」の会の新庄事務局の運営等、明るく住みよい地域社会づくりに貢献しています。

<里山地域の「森づくり活動」>

- ・やまがた絆の森『しんきん結の森・ぐるっと花笠の森【新庄】』活動として、遊歩道や植樹箇所の下刈り活動や木エクストラフト作業、そして「エコ未来郵便」などを実施いたしました。職員とその家族、地元サッカーチームを招いての4年ぶりとなる通常開催となりました。
- ・最上エコポリス30周年記念シンポジウム「最上エコポリスの今、その潜在力と展望」が開催され、当金庫理事長が実行委員に参加、当金庫とバイオマスもがみの会が後援しました。

<新庄「小さな親切」の会の新庄事務局の運営、絵画コンクール等>

- ・「新庄藩初代藩主戸沢政盛公物語」の読書感想文コンクールを、新庄市内小学校を対象に開催し、入賞者に表彰を行いました。
- ・当金庫敷地内において、献血バスによる献血活動を行いました。

～ご存知ですか？CSR～

企業の事業継続性(サステナビリティ)は財務諸表のみではなく、お客様、職員や地域社会などの存立基盤によって形成されるものであり、こうした多面的な配慮が、企業の将来的な発展には必須の条件であるという考え方です。協同組織である当金庫は、日頃の本業を通じた事業活動そのものが、CSRや、持続可能な開発目標(※SDGs)に対する活動に結び付けております。

※SDGsにつきまして、詳しくは当金庫のホームページをご覧ください。



当金庫では職員に対し資格取得、各種セミナーへの参加を推進し、お客様の経営支援に努めております。

今年度に入ってから、日本政策金融公庫が主催の「写真を使った集客&売上UPセミナー」が開催されました。当金庫職員に加えお取引先様にも受講いただきました。



当金庫が運営しているバイオマスもがみの会の源流でもある「最上エコポリス構想」の30周年記念シンポジウムが開催されました。当金庫理事長もコメンテーターとして登壇し、本構想と最上地域の潜在力を再認識する会となりました。

8. 地域貢献

新庄信用金庫と地域社会

～ 地域に根ざしたコミュニティバンクをめざして ～

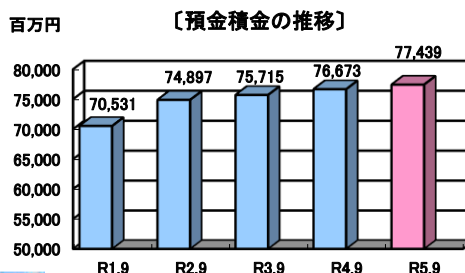
< 当金庫の地域経済活性化への取組みについて >

当金庫は新庄市、最上郡、北村山郡、尾花沢市、東根市、村山市、天童市、山形市、寒河江市、河北町、庄内町を事業区域として、地元の中小企業者や住民が会員となって、お互いに助け合い、発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

地元のお客様からお預かりした大切な資金（預金積金）は地元で資金を必要とするお客様にご融資を行って、事業や生活向上のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業者や住民との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機能の提供にとどまらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。

◆預金積金残高 【77,439百万円】

当金庫では、地域のお客様の堅実な資産づくりのお手伝いをしております。より多くのお客様からご利用いただけるよう新商品の開発やサービスの一層の充実に向けて努力してまいります。

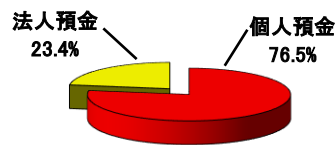


◆「えほん定期」(夢がかなう本)

えほんの主人公に、お子様等のお名前が入った、世界でたった1冊の自分だけのオリジナル絵本をプレゼントします。



【預金者別預金残高構成】



新庄信用金庫

地域のお客様／会員の皆様

預金積金／出資金

「地元」で預けて頂いたお金は「地元」へ。

貸出金／支援サービス

◆貸出金残高【41,543百万円】

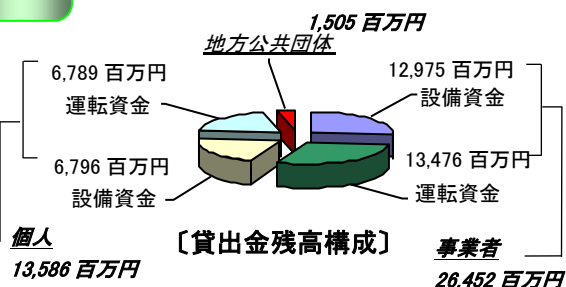
預金積金に対する割合【53.6%】

地元のお客様からお預け入れいただいた預金積金につきましては、お客様の様々な資金ニーズに応え、地域経済の活性化に資するためにご融資を行い、地域社会に還元しております。その結果、個人のお客様を含めた地域の事業者の皆様に対し、総貸出金の約94.4%をご融資しております。※その他は地方公共団体等へのご融資になります。

◆取引先への支援等

当金庫は、業績低下に苦慮しているお客様には親身になって相談し、打開のための改善策や経営改善計画書等へのアドバイスをするなど、資金面だけでなく生きた支援を心掛けております。

また、お取引先事業者経営者への情報提供と、異業種交流・親睦を図る場として「しんきんエグゼクティブクラブ」を運営し、経済・文化講演会や各種セミナー等を開催、お取引先様の発展と繁栄のお手伝いをしております。



◆新規創業支援

地域の活性化を目的とした創業支援商品「コミュニティビジネスローン」や、街づくりを支援する「NPOサポートローン」がございます。



9. トピックス

地域貢献・CSR

当金庫の本店駐車場を献血会場として提供しており、職員も積極的に献血に参加しております。



地元の高校が開催する地域理解プログラムに当金庫の職員が講師として参加し、高校生の地域課題の発見に協力しました。



職業体験として高校生を迎え入れ、信用金庫の仕事内容や地元金融機関の存在の大切さについて学んでいただきました。



「ジモト・ソーシャル・イノベーター」育成としてジモト大学にて高校生カフェ開店

当金庫は、地方創生に関する取組みとして、日本財団「わがまち基金」を活用した「国産落花生の新産地プラットフォーム構築」と「ジモト・ソーシャル・イノベーター(人材)養成」事業を開始し、地域創生の推進に向けた課題解決および地域の明るい未来を実現するために活動中です。

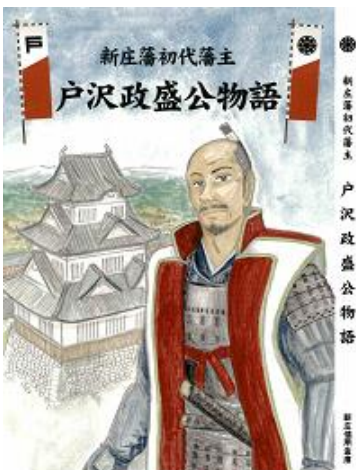
令和元年の「ジモト大学」にて当金庫が企画したプログラムから考案された、金山産落花生使用スイーツ「モンナッツ」が令和4年10月にお取引先様の協力により商品化・販売へと至りました。そして、今年度の「ジモト大学」にてこのモンナッツを活用し、高校生カフェ体験の場を提供いたしました。モンナッツを仕入れ、販売するとともに、接客の基礎や損益計算を学べる場となりました。

今後、高校生やお客様から改善点などの意見を収集し、改良版モンナッツの作成へとつなげます。



「新庄藩初代藩主戸沢政盛公物語」読書感想文コンクール

当金庫創立100周年記念事業として令和5年3月に、「新庄藩初代藩主戸沢政盛公物語」を刊行いたしました。これに伴いまして、若者の地元への愛着の醸成を願い、最上郡内各市町村に寄贈し、加えて読書感想文コンクールを開催いたしました。



コンクールは新庄市内の小学校5、6年生を対象に実施し、計198点の応募がありました。その中から、計14作品が入賞し、当金庫役員による表彰式が各小学校にて行われました。また入選した感想文をまとめた作品集を作成いたしました。

今後も本書を活用し、郷土の歴史の普及に貢献して参ります。

電話対応コンクール2023全国大会に出場

日本電信電話ユーザ協会が主催する「電話対応コンクール2023」に当金庫職員が出場し、業務で培った傾聴力やコミュニケーション力を発揮しました。審査の結果、本店渉外担当である吉田翔さんが地区大会・県大会にてそれぞれ優勝という成績を収め、令和5年10月20日に北海道で開催された全国大会に出場いたしました。



(写真左)県大会優勝の賞状と吉田翔さん。

(写真右)北海道で開催された全国大会の競技シーン。

大会の様子はオンラインにて全国に中継されました。

レキシントン新庄にてジャズコンサート開催



【水晶の詠（うたい）】

当金庫本店の駐車場に隣接しているコンサートホール「レキシントン新庄」にて、サクソ奏者坂田明さんらトリオ「水晶の詠」によるジャズコンサートが開催されました。

新型コロナウイルスの影響により、坂田明さんによるレキシントンでのコンサートは4年ぶりとなり、お客様約80名が迫力ある生演奏に聴き入りました。

やまがた絆の森における里山地域の「森づくり活動」



新庄信用金庫、山形銀行、山形県、柴草山管理組合、新庄市、NPO法人バイオマスもがみの会の6者間で協定を締結している「やまがた絆の森『しんきん結の森・ぐるっと花笠の森【新庄】』」の活動が、4年ぶりに通常開催されました。職員とその家族や、地元サッカーチーム所属の小学生が活動しました。

当日は、遊歩道、大きく育ったブナ植樹林、「森のホームステイによる絆の森活動」にて植樹したコナラ、ミズナラ周りの下刈りを行いました。また、子供たちはスギ材を組み合わせてペン立てケースを作成する木工クラフトを体験しました。



【エコ未来郵便】

森づくり活動に参加していただいた方々には、10年後の自分に宛ててメッセージを書く「エコ未来郵便」を配付し、作成していただきました。完成した手紙は当金庫で保管し、2033年にタイムカプセルを開封後郵送する予定です。

令和5年11月発行
新庄信用金庫 総合企画部
 〒996-0027 山形県新庄市本町2番9号
 TEL. 0233-22-4222 (代表)

SHINJO SHINKIN BANK